

# 上級システムアドミニストレータ試験(SD)

[ Senior Systems Administrator Examination ]

平成13年度春期から平成20年度秋期まで

## 1. 対象者像

利用者側において、業務の中でどのように情報技術を活用すべきかについて判断するために必要な知識・技能をもち、情報化リーダーとして業務改革・改善を推進する者

## 2. 役割と業務

企業・組織のビジネス活動、業務活動の中心的役割を果たす立場において、業務改善と情報化に関する PDCA サイクルを主導する。すなわち、経営戦略及びビジネス戦略を理解したうえで、業務システム及び情報システムの面で、次のような役割を果たす。

〔業務システム〕

- (1) 業務モデル、業務プロセス変革の企画に参画するとともに実施計画を立案し、実施環境を整える。
- (2) 新しい業務モデル、業務プロセスの具体的な実施内容を作成し、改革の活動を指導する。
- (3) 新しい活動の効果を評価し、更なる改善にフィードバックさせる。

〔情報システム〕

- (1) 業務モデル変革に適合する情報システム化の RFP 作成、IT ベンダへの提示・評価作業に参画し、経営層を支援する。
- (2) システム開発の進捗状況と完成度を把握し、受入れ、運用準備を行うとともに、稼働開始に必要な各種事項を決定、指示する。
- (3) 日常業務の一環として、システムの運用状況・利用状況を継続的に把握し、システム化の達成度を評価して改善要求につなげる。
- (4) 経営層の行うビジネス戦略、情報戦略の立案・評価に参画し、支援する。

## 3. 期待する技術水準

情報化戦略が経営戦略を実現させる大きな要素となっているなか、上級システムアドミニストレータは、業務遂行側の立場で、情報技術を生かした業務革新の提案、必要となる情報システムの実現、新システムの活用・評価の担い手として、次の幅広い知識・経験・実践能力が要求される。

- (1) 経営、マネジメント、情報技術に関する全般的な知識をもち、ビジネスの動向、情報技術の動向を正しく捉えられる。
- (2) 電子商取引などの情報技術を活用した最新経営技術動向、情報技術動向を理解し、業務モデル変革の企画立案に参画できる。
- (3) 業務モデルの策定、理解に当たって、幅広い視点、視野をもち、全体としての最適ソリューションを考えられる。
- (4) 情報システムの提供者側との検討の場において、ビジネス、業務、システムを抽象化し、適切な機能モデルを作成できる。

- (5) 自企業・組織の現状や業務を、他社状況、市場状況などを踏まえて正しく分析し、問題点を明確にできる。
- (6) 問題点を整理し、優先順位を考慮した解決策を策定できる。
- (7) 解決策に関する費用対効果分析、リスク分析を行い、その結果を経営層に説明できる。
- (8) 解決策に基づく業務、組織、システムの設計を行い、実現させる。
- (9) 解決策に対する効果目標及び評価基準を設定し、達成度を評価できる。
- (10) 計画に対する管理、必要に応じての適切な対応策をとることができる。
- (11) システムの活用においては、イントラネットを活用した情報発信の促進、情報の質的向上を図るなど、情報技術を活用した業務の改革・改善を考えられる。

#### 4. 試験形式と試験時間

平成 17 年度秋期試験からの試験形式と試験時間

午前	午後 I	午後 II
9:30～11:10(100分)	12:10～13:40(90分)	14:10～16:10(120分)
多肢選択式(四肢択一) 55 問出題して 55 問解答	記述式 4 問出題して 3 問解答	論述式(小論文) 3 問出題して 1 問解答

注意 1 平成 17 年度から午前試験の出題数を 50 問から 55 問に変更

注意 2 平成 17 年度から午前試験の試験時間を 90 分から 100 分に変更

注意 3 平成 17 年度から昼休憩時間を 90 分から 60 分に変更

平成 16 年度秋期試験までの試験形式と試験時間

午前	午後 I	午後 II
9:30～11:00(90分)	12:30～14:00(90分)	14:30～16:30(120分)
多肢選択式(四肢択一) 50 問出題して 50 問解答	記述式 4 問出題して 3 問解答	論述式(小論文) 3 問出題して 1 問解答

#### 5. 試験の手続日程

	秋期
試験実施日	10 月第 3 日曜日
願書の受付	7 月中旬から約 1 か月間
受験手数料	5,100 円(税込み)
合格発表	試験実施の約 2 か月後